



ひろしま美術館 被爆80年特別展示

「キッズゲルニカ」作品展

日時 2025年7月19日(土)～8月31日(日)

※ご鑑賞無料。ただし、当日有効の入館券が必要です。

会場 ひろしま美術館 西側回廊

キッズゲルニカとは…

1937年、スペインの街ゲルニカに、ナチス・ドイツがたくさんの爆弾を落としました。街の建物はほとんどこわされ、大勢の人が亡くなりました。世界中の人々が悲しみました。スペイン人の画家パブロ・ピカソは、その悲しみを胸に、巨大な絵画《ゲルニカ》(高さ3.5m×横7.8m、1937年、マドリード、ソフィア王妃芸術センター蔵)を制作しました。その後、平和を訴える世界中の人々によって同じ構図のタペストリーや壁画などが制作されたこともあり、《ゲルニカ》は「平和のための芸術」の代名詞になりました。

「キッズゲルニカ」とは、各国の子ども達が平和への祈りを込めて、ピカソの《ゲルニカ》と同じ大きさの絵を描く世界的な芸術活動です。灰色、黒、白を基調に「戦争の悲惨さ」を表現したピカソの絵を、未来を担う子どもたちの手によって、色彩豊かな「平和と希望」の作品にする試みです。



2023年5月「キッズゲルニカ」作品展

(ひろしま美術館 西側回廊)

